

オープン・アカウント

Open Account

No.22

FNA(エフナ・アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム)
ニュースレター2007年9月号



報告 第40回ADB年次総会～京都・・・P2

10年後に聞かされる同じ話・・・P7

FNA2007年度計画/イベント情報・・・P8

催しのご報告・・・P9

学習会のご案内・・・P10

NGO福岡ネットワークに参加・・・P11

FNA小冊子「ADBってなに」・・・P12

報告 第40回アジア開発銀行年次総会 ～ 京都

2007年5月、京都で行われたアジア開発銀行（ADB）第40回年次総会についての報告です。FNAからは4名が参加しました。

その1 ADBが京都へやってきた！ ～ アジア開発銀行京都総会 参加レポート

■ADB福岡総会から10年…今度は京都へ

今年5月4～7日、アジア開発銀行（ADB）の第40回年次総会が京都で開催された。

ADBは慣習的に毎10年の節目の総会を日本で開く。1995年の第30回総会は福岡で開かれ、それをきっかけにFNAが生まれたのだから、私たちも10年間活動してきたことになる。10年前、海外からのNGO来訪を受け入れたり、市民向けフォーラム「ADBちゃんね？」を開いたり、東京や関西、福岡の他のNGOと連携して手探りで活動を模索したのが懐かしい。

あれから10年、ADBは、そしてNGOはどう変わったのだろうか？

そんな思いを持ちつつ、わたしたちは京都へ向かった。そこで見た・感じたままの、ADBとNGOの動きについて報告したい。

■インサイドとアウトサイド～総会への2つの方向からのアプローチ

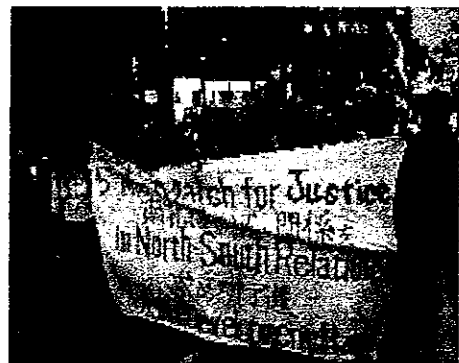
ここ近年、国際機関の会議が開かれる際には、NGO主催の「市民フォーラム」が開かれることが多い。今回のADB総会でも、関西・東京に拠点を置くNGOによって「ADB京都総会・市民フォーラム実行委員会」が発足し、総会開催中の2日間、同志社大学を会場にして、市民フォーラムと様々なテーマの分科会が開かれた（このうち、FNAもADB津波災害復興支援の問題点を取り上げた分科会を開催した）。

さて、この「市民フォーラム」をNGOの「ア

ウトサイド・イベント」とするならば、「インサイド・イベント」として、総会公式プログラム内でのNGOの動きもある。

ADB総会は、閣僚や幹部による会合のほか、NGOとの意見交換のためのフォーラム、各種セミナーが公式プログラムとして開かれる。メディアやNGOは、事前申込さえすればADB総会会場に入ることができる。NGOもこれらのプログラムに参加できるほか、NGO主催でセミナーを開くこともできる。

今回の京都総会の公式プログラムでは、「総裁とCSOs（※）との会合」（5月4日）、「ADBの環境、先住民、移転政策の改定～社会環境についての安全保障の危機？～」（5月5日）などのセミナーや意見交換の場がADBによって設けられ、ADBからも総裁や担当職員が出席した。一方、最近のADBの注目すべきトピックをテーマとしたNGO主催セミナーも各種開かれ、ADBのエ



市民フォーラム参加者らによるデモ・京都市内

エネルギー政策、労働基準、水政策、汚職防止基準などをテーマとした各セミナーや記者会見が開かれた。会場内のメディアルームへの立ち入りも自由で、ADB 側の広報資料や経済情報紙などとともに、NGO による各種プレスリリースやリーフレット、総会期間中のデモやイベントの案内などが、数十種類設置された。

このほか、総会に合わせ理事や各国政府団が集結するこの機会を使って、NGO が個別にロビイングのための会合を持つこともある。問題を引き起こしている、または問題が懸念されている個別プロジェクトについて中止や改善を求めたり、ADB 全体での動きについて NGO 側立場からの発言を理事に求めるためである。

例年通り、京都総会でもこれらインサイドからのアプローチが積極的に行われ、課題解決へ向けて NGO が提言やメディアへの情報発信を行っていた。

■ADB へ向けた NGO ネットワーク～NGO フォーラム・オン・ADB の動き

ADB については、ADB を監視するための“NGO フォーラム・オン・ADB” (NGO Forum on ADB (本部：マニラ) 以下 NGO フォーラム) というゆるやかな国際ネットワークがある。ADB 年次総会にも毎年参加し、主にインサイドからのロビイングを行っている。京都総会でもこの NGO フォーラムからの強い働きかけによって、前述の通り、黒田東彦・ADB 総裁と NGO との会合や、



セーフガード改訂に関する NGO-ADB 意見交換会

ADB 担当者と NGO とがパネリストに並ぶセミナーが開かれた。

NGO フォーラムとしての今回の京都総会での最大の争点は、ADB が現在進めている「セーフガード政策」の改訂についてだった。

セーフガード政策とは、環境・先住民・移転という、ADB 融資プロジェクトを実施する際に特に配慮しなければならない3分野について、ADB 自身が決めたルール (政策) のことである。この重要なセーフガード政策が今回の見直しに際して「改悪」される可能性があり、市民社会や NGO から強い懸念が出ている。京都総会では、NGO フォーラムがさまざまな機会を通してセーフガード政策をより厳しい基準にする必要性を訴えた。その他にも、カンボジア国道1号線、タイのメモ石炭火力発電所、インドネシア・アチェでの津波災害支援など、個別プロジェクトについて取り上げるセミナーやプレスリリース等も行った。

またアウトサイド・イベントである同志社大での「市民フォーラム」においても、NGO フォーラム事務局長のヘマンサや、フォーラムメンバーのアジア各国、アメリカ、オーストラリアなどの NGO が、それぞれのターゲットとしている案件や ADB の動きについて報告や会場との意見交換を行った。

■ADB 京都総会のその先へ向けて

ADB への働きかけは、問題案件のある国や理事国において日常的にも行われている。ADB 総会に参加してみて、年次総会とはその延長上にある一つの機会であり、特にメディアを通しての効果的な情報発信の機会でもあったと感じた。

また、総会に合わせて開かれる市民フォーラムは、開催地の市民社会や NGO へ向けて、ADB そのものやタイムリーなテーマ、案件について関心を高める良い機会となっているように思った。京都での市民フォーラムには、関西よつ葉連絡会やピープルズプラン研究所、廃棄物や化学物質について活動している団体など、日頃は ADB と少

し離れた活動をしている団体も多く関わっていたことも新鮮だった。

「ADB そのもの」に対する各団体の関心の低さという課題はあるものの、今後の展開次第だろう。ADB 京都総会をめぐる日本の市民社会での一連の動きが、一時の打ち上げ花火に終わるのか、これを機会に ADB について関心を高めることができるのかこそが重要である。

インサイドとアウトサイド、その両方からの NGO/市民社会の動きが ADB への影響力を持つわけだが、今回の京都総会ではまた、その両方の互いの連携がやや弱かったような印象も受けた。外部は外部で開催地の NGO がフォーラムを開き、内部は内部で国際ネットワークがロビイングをする、という切り離れた形ではなく、もっと「京都や日本の市民の立場から、ADB をどう捉え、何をメッセージとして発信するべきか」という動きがあっても良かったのではないかと思う。

ADB 福岡総会から 10 年が過ぎたが、今回京都では「ADB って (日本の NGO の間でも) まだあまり知られていないのだから…」と改めて感じざるを得ない場面も多くあった。FNA の力不足でもあるわけだが、大まかに言えば、日本の市民社会は今もまだ「ADB ちゃ何ね？」というレベ

ルから抜け出ていない印象を受ける。

今回京都総会開催に合わせて出版したブックレット『ADB ってなに? ~わたしたちの「援助」が感謝されない理由~』は、今回の総会で初めて ADB を知ったという、多くの市民フォーラム参加者に手に取ってもらえることとなった。ADB についてももう一步深く知るためのきっかけとして活用いただければこの上ない喜びである。分科会開催という役目も無事果たすことができ、参加した 3 人にとっても海外や国内の NGO がどう ADB を見ているか、ADB が今どこに向かおうとしているかを肌で知る、またとない機会となった。

おそらく 10 年後の 2017 年、ADB 年次総会は再び日本で開かれる。

その時、日本の市民社会は ADB にどんな目線で向き合うのか。FNA の活動として、ADB プロジェクトや ADB そのものの動きをモニタリングするだけでなく、京都総会で見た現状を踏まえて、例えば「10 年後に日本の市民社会の中で ADB に対するどのような認識を作りたいのか」をイメージしながら、今後の活動を展開していくことも必要ではないかと感じた。

(寺嶋 悠)

※CSO: Civil Society Organization・市民社会組織

その 2

第 40 回 ADB 京都総会参加記

—福岡から京都へ

2007 年 5 月 1 日から開催された ADB 京都総会ですが、仕事の都合などもあって、5 月 4 日、5 日の京都滞在でした。FNA の活動に携わるようになって日の浅い自分にとって、ADB の総会に参加するのは今回が初めてでした。

5 月 4 日、博多発の新幹線に乗って京都駅に着いたのは、もう既に午前 11 時を廻っていたと思います。途中、京都駅で FNA 作成の小冊子(「ADB って何」)を預けるべくコインロッカー

を探したのですが、生憎と空きがなくて、さらに持参の紙袋まで破れる始末で、京都に着いて早々トラブルでした。

さて、そこから、大急ぎ地下鉄で総会会場へ向かいます。会場のセキュリティを通過すると、受付があります。すでに NGO のメンバーとして事前登録を済ませていたので、手続きは簡単に済むだろうと、たかをくくっていると、登録内容と照合するので写真付きの身分証を見せろ

とのこと、うかつなことに来る前に全く想定していませんでした。免許証も、パスポートも持っていないし、学生でないので学生証もないし、どうしたものかと思っているとクレジット・カードの裏に写真が載っていることに気づき、これを提示してようやく一式受け取ることができました。中身は、パンフレット、タクシー・チケット、「お土産」の立派なバッグなどでした。

総会会場では、その時間に行われていた ADB の「成長とグローバリゼーション」というセミナーに参加して、その後、NGO 主催へのシンポジウムの会場である同志社大学へと向かいました。昼過ぎから始まったシンポジウムは、ほぼ満席に近い感じでした。会場は、色々な段階のバナーが巻かれていました。日本語、英語入り混じったプレゼンテーションが行われて、ADB のごく簡単な概要からその問題点にわたるまで説明がなされ、特定の問題関心からの参加者にとっても非常に分かりやすいものであったのではないのでしょうか。休憩時間には、会場の中と外で各 NGO が持ち寄った小冊子やビデオが販売されて、それを買い求める人々の流れができていました。我ら FNA の小冊子も割合と好調な様子でした。朝からの移動と 5 時間近くのシンポジウムで集中力も若干途切れがちでしたが、なんとかメモをとっていました。

2 日目、朝 8 時過ぎ、宿泊先の新大阪駅近くのホテルから列車に飛び乗って京都へ向かいます。目的地は同志社大学、ジュビリー・サウス

共催のワークショップをみようと思ったからです。途中からだったのですが、雨にも関わらず会場は満席、ADB 債務の根本的な問題を指摘する主張は大いに感銘を受けました。こちらのワークショップにも携わる T 嶋さんは、レジメのコピーに奔走しているようでした。この後、お昼からは、有害廃棄物の WS に参加、こちらは自分の関心とも関わる分野でもあり、ADB との関連はやや薄いと言えなくもありませんが、個人的には大いに得るところがありました。最後は、FNA も一翼を担う Tsunami の WS です。内容については、他に譲りますが、休日最後の時間という比較的悪い条件にも関わらず、盛況であったことは、市民、NGO の間の高い関心を覗わせるものではなかったかと思えます。この WS の後片付けを終えると 19 時近くになっていました。新大阪 20 時過ぎの新幹線にはぎりぎりという時間でした。博多に着いたのは 23 時を過ぎていました。

残念ながら、今回は表題と違って ADB 総会そのものよりも、その関連イベントへの参加と言った方が適切であるような気がします。期せずして、WS の共催団体となってしまったために、そちらにかかりきりになってしまったことも大きいのですが、総会とそして同時に市民団体が開催する WS に、どう参加して、どう関わり、自らの活動へどう活かしていくかという点については改めて考えさせられたような気がします。

(渡邊智明)



NGO 主催のシンポジウム



ツナミ・ワークショップで発表する NGO

「ADB 京都総会に向けた NGO ネットワーク 実行委員構成団体」は次の 5 団体。(特活) 関西 NGO 協議会、(特活) AM ネット、ATTAC ジャパン・ネットワーク、国際公務労連 (PSI) 加盟組合日本協議会、(特活)「環境・持続社会」研究センター (JACSES)。

97 年福岡総会時は熱帯林行動ネットワーク、地球の友 (現 FoE-Japan)、JACSES、IACOD 京都など、福岡からは NGO 福岡ネットワーク、アイセック、JVC 九州ネットワークなど。参加団体も様変わりですが、「人」となると言うに及ばず・・。実際、自分もまさか 10 年後に再び ADB 総会にかかわるとは思っていなかったし。ところが、海外の NGO メンバーにはなつかしい顔ぶれが。FNA の小冊子「ADB ってなに？」の裏表紙を喜んでくれ、こちらも感激でした。

思い返せば 10 年前、わが NGO フォーラムの懸念は「トラブルなく通行証が発行されるか」。今回はインターネットで楽々申請・楽々登録、期限以後でも頼み込めばなんとかなる、とも聞きました。さすがに対 NGO も改善されたみたいですが、ネット環境に恵まれないときはやはり問題ですよ。

かつて福岡の市民フォーラム全体会で取り上げたのは「税金を水に流す? 公共事業」。メコン川のダム、諫早湾干拓、博多湾の人工島など、いまだ通用するこのテーマ。分科会の先住民族、女性と開発、子ども、人権、農村開発、日本の ODA、こちらも同様、今もはびこる問題です。

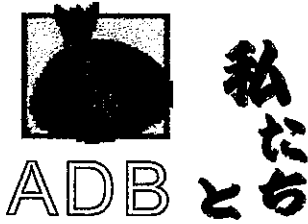
今回の市民フォーラムワークショップではツナミ、水道民営化、電力民営化、WTO/FTA などと共に、先住民族、開発と女性、グローバル化と格差社会などがテーマでした。切り口は多少かわっても、問題の本質は 10 年前と大差ないように思います。この先、10 年後の ADB 総会で、また同じことを「問題だ!」と言わなければ

いけないのかも? とはいえ、少しずつでも改善されるよう、こつこつとなにかしら取り組みを続けること、これがふつうの市民の小さな NGO の役割なのかもしれません。

FNA が担当したワークショップは「ツナミ被害の後に ADB 被害がやってきた—国際援助機関が被災者の生活に与えた影響」。これは、FNA と環境ディフェンス (米国)、グリーンムーブメント・スリランカ、ジュピリーサウス、都市研究センター (インド)、NADI (インドネシア) との共催。2004 年 12 月の「ツナミ」は、インド洋周辺諸国に大被害をもたらした。被災地には世界中から善意の見舞金が寄せられ、国際機関も 70 億ドルの復興援助を約束。これらの資金は被災地の復興に役立ったのだろうか?—ここにあがるのですから当然、問題あり。援助が住民の日々のくらしを取り戻すことよりも企業活動に有利なものにまわされ、債務のツケは国民に……。表向きの感謝の笑顔に満足せず、多額の援助を送った日本の市民として援助の結果まで責任をもつべきではないでしょうか。それにしても、お茶・お菓子つきのこのワークショップのためにスーツケースまるごといっぱいのお菓子を持ってきた T さんには脱帽でした。

以下余談。総会お客様向き歓迎企画 (日本文化体験コースのような) は相変わらずですが、ID カード (通行証) は首にかけるパウチカードではなく、のびるクリップつきカードに進化。でもやたらと裏返り、たびたびセキュリティさんに注意されました。望む、改善。ところで今回の総会参加者用おみやげ (西陣織肩掛けバッグ、扇子、匂い袋、豪華京都案内冊子 & DVD) は福岡のおみやげ (ビジネスバッグ、博多織のマット、高級ボールペン、福岡ガイド CD) から進化したのでしょうか? それは、お好み、かな。

(楠原圭子)



ADB 福岡総会をきっかけに FNA が誕生して 10 年。ADB の変化に注目してきましたが、わたしたち自身を振り返ることも必要かもしれません。

第 4 話

10 年後に聞かされる同じ話

～開発支援と政策提言の間ではざま

ADB に対する NGO 活動を始めたきっかけは 1997 年の ADB 福岡総会だった。NGO の「政策提言」活動とはどういうものかを知りたかった。お金や物や人を自分の手で現地に持ち込む「開発支援」とは違った活動のあり方に引かれていた。

これは前々年の 1995 年に起こった阪神淡路大震災の緊急救援・復興支援に関わった経験と無縁ではなかったと思う。日本政府・行政機関の誤った決定や政策が被災者を困らせ、時には死に追いやる現場に最後の方まで居合わせた。毎日カセットボンベの補充を背負って避難所や仮設住宅を訪問して、「A さんはまだ復興住宅に当たらない」とか、「B さんは借金を抱えて新しい事業を興せない」と聞かされても、できることはもはや限られていた。

2000 年に活動拠点をタイに移した。2002 年からは 2 年間マニラの ADB 本部を定期的に訪問して、異議申立制度や情報公開といった ADB の政策の立案・改定に NGO の立場から関わった。2005 年からはタイやカンボジアの住民組織を定期的に訪ねて、ADB や JBIC（国際協力銀行）の融資プロジェクトで被害を受けている人びとの状況をそれらの開発機関の

政策を利用して改善するよう努めている。今年（2007 年）5 月の ADB 京都総会では、カンボジアの国道一号線改修事業（ADB 融資）で立退きに遭った住民の声を届ける手伝いをした。

国道一号線改修工事で移転させられた住民のところを訪問すると、「A さんは立退かされたまま住む家がない」とか、「B さんは借金を抱えて新しい事業を興せない」とか、神戸で聞いた話を再び聞かされる。ただ、私の手にはもはやカセットボンベはなくて（もちろん南国ということもあるが）、代わりに「政策で約束された通りの補償を ADB に実現させる」という知恵がある。この変化は 10 年間の私の学びと言っていいだろう。

だから再びカセットボンベの補充を背負うだけの活動に戻ろうとは思わない。しかし最近では知恵の危うさにも気づいている。生半かな知恵ではどこにもたどり着かないし、かえって変なところにも迷い込む。そうならないためには、「政策提言」という肩書きを自他共に許しているだけでは不十分だと思う。

では何を指針とするか？私にもまだ十分には分からないが、被害を受けている人びとの話に素直に耳を傾けることは絶対不可欠だろう。そこには人が人に対する時に取捨してはならない具体性が存在する。役に立つ知恵はそういう具体性を素通りできないはずだ。

そう考えると、同じ話を聞いているこの変化のなさも 10 年間の私の学びと言ってよさそうな気がする。

（土井利幸）

FNA2007年度 計画

今年度の役員・活動計画をご紹介します。ここ数年の目標だった小冊子が完成し、新たな段階へ！

役員

代表 吾郷健二
副代表 土井利幸
事務局 楠原圭子
寺嶋 悠
監事 原田君子
運営委員 高木英行
田平佳子
渡邊智明
土肥勲嗣

活動案

- 1) ADB 京都総会関連フォローアップ
 - ・ ツナミ、カンボジア国道1号線立ち退き問題関連
 - ・ 小冊子「ADB ってなに？」修正・追加情報収集
- 2) 情報共有・意見交換の充実
 - ・ メーリングリストの活用、ホームページの充実
 - ・ ニュースレター（オープンアカウント）発行（年3回）
- 3) 勉強会、講演会の開催
- 4) 新会員の獲得
- 5) 他団体とのネットワーク強化
 - ・ 他団体主催事業への参加、情報交換
 - ・ FUNN（NGO 福岡ネットワーク）加入
- 6) 定期協議・各種会合（特に東京での会合）についての対応
- 7) 運営委員会

イベント情報

今年度のブース出展予定イベントのご案内です。民芸品販売、冊子販売・チラシ配布を行います。お手伝いして下さる方、大募集！

・9月15日（土）・16日（日） 地球市民どんたく2007

会場：福岡市役所西側ふれあい広場 11:00～18:00

http://www.rainbowfia.or.jp/japanese/bulletin/news101_150/no128.htm

・10月14日（日） ハートフルフェスタ2007

会場：博多リバレイン 11:00～18:00

<http://jinken.city.fukuoka.jp/event/heart2007>

・10月27日（土）・28日（日） アミカスウィーク2007

会場：アミカス（西鉄天神大牟田線高宮駅前） 10:00～19:00（28日は17:00まで）

<http://www.amikas.or.jp/>

・11月25日（日） あすばるフォーラム2007

会場：クローバープラザ（春日市 JR 春日駅前）10:00～16:00 <http://www.asubaru.or.jp/>

催しのご報告

学習会一 わたしたちの「援助」が感謝されない理由 ～カンボジアの現場から

- ・5月8日(火) 会場：あすみん「セミナールーム」 参加者22名
- ・ゲスト：シン・チンさん(カンボジア・国道一号線事業被害住民代表)
 コル・レカナさん(カンボジア・立ち退き問題行動ネットワーク)

- ・解説：土井利幸(FNA 副代表)
- ・協賛：明日のカンボジアを考える会(F-ACT)

十分な説明も補償もなく道路改修事業により立ち退きを強いられた沿線住民は、10年近く経過した現在も不安定な生活を送っています。もう失われたかつての暮らしと時間を取り戻すことはできませんが、ADBの審査パネルに提訴するとのこと、せめてシン・チンさんたち住民に今後のために補償を支払ってほしいと思います。

*カンボジア国道1号線問題についてはFNA発行小冊子「ADBってなに？」に詳しく記載しています



ADB京都総会 セーフガード改訂に関する意見交換会に参加したシン・チンさん(左)とコル・レカナさん(右)

「水」のDVD視聴と水サミット説明会の報告

- ・8月9日(木) 会場：あすみん「フリースペース」参加者8名
- ・7月29日開催の水サミット説明会(福岡) 報告 (寺嶋)
- ・特別ゲスト 藤沼美和さん(JACSES)

この報告会は「第1回アジア・太平洋水サミット市民向け説明会」に関するものでした。説明会は東京、大阪について福岡で開催され、その概要は以下の通りです。

2007年7月29日(日) 会場 博多パークホテル 2階真珠

主催：第1回アジア・太平洋水サミット事務局(日本水フォーラム内)

対象：水や開発に取り組むNGO、市民団体等

内容：第1回アジア・太平洋水サミットとオープンイベントに関する説明、意見交換等

福岡会場の参加者は事前告知の不十分さにもかかわらず約30名。ところが参加したFNAメンバーによると「パワポは立派でしたけど・・・」そもそも、「第1回アジア・太平洋水サミット」の意義・目的に大きな疑問があります。首脳が集まるからサミット、だそうですが、NGOになにをさせるつもりなのかわかりません。今後、検討・学習して対応していきたいと思います。

→ というわけで、9月5日「水の学習会」急遽 決定! 詳細は 本誌 p10!

(この説明会議事録は <http://www.waterforum.jp/summit/archives/200708/000094.php> で入手できます)

学習会のご案内

『 第1回アジア・太平洋水サミットin大分 福岡事前勉強会 』

水は誰のものか？ ～商品化される水と私たちの暮らし～

21世紀は「水の世紀」。この「限られた水」をめぐり、世界中で巨大企業が動きだしています。日本でも確実に進む急激な水のグローバリゼーション、私たちはどう対処すればいいのか？

今年12月、大分で開催されるアジア・太平洋水サミットを見据えつつ、水問題に取り組む神田浩史さんをゲストに迎え、世界と日本で起きようとしている水問題の実態について考えます。

■日時：2007年9月5日(水) 19:00～21:00

■会場：アクロス福岡 会議室501 (西棟5階、エスカレーターをご利用ください)
福岡市中央区天神1-1-1 (福岡市役所・天神中央公園隣、明治通沿い)
<http://www.acros.or.jp/> TEL 092-725-9113

■講師：神田浩史さん (AMネット、ODA改革ネットワーク世話人ほか)

<講師紹介>

2003年3月に京都で開かれた第3回世界水フォーラムでは、世界水フォーラム市民ネットワーク事務局長として多くの市民・NGOの参加を推進した。現在、市民の立場からODAの検証を続けるNGO「ODA改革ネットワーク」の世話人。人権侵害や環境破壊をモニターする目的で設けられたNGO「AMネット」の代表。6年あまりにわたるODAの開発コンサルタントとしての経験をもとに、受取側のNGOと協働でODAプロジェクトを調査し、その結果をもとにODA改革に向けての提言を続けている。

■資料代 300円 (FNA会員は無料)

■お問合せ:

FNA (エフナ・アジア開発銀行福岡NGOフォーラム) Email: fna@minos.ocn.ne.jp
TEL/FAX 092-920-1873 (終日留守番電話です。お名前・連絡先を録音してください)

■主催：水サミット勉強会実行委員会

■共催：FNA (アジア開発銀行福岡NGOフォーラム)

■後援：(特活) NGO福岡ネットワーク (FUNN)

：：： 関連情報 ：：：

別府市で開かれる9月4日の水サミット・シンポジウム (行政主催) について

・水サミット大分県委員会のお知らせ 「第1回アジア・太平洋水サミット開催記念シンポジウム」を開催します! http://www.watersummit-oita.org/news/2007/08/post_8.html

・「第1回アジア・太平洋水サミット」開催記念シンポジウムのご案内 (詳細)

<http://www.watersummit-oita.org/news/photo/0904info.pdf>

アジア・太平洋水サミット <http://www.watersummit.jp/>

アジア・太平洋水サミット 大分県委員会 <http://www.watersummit-oita.org/>

FNA、NGO福岡ネットワークに参加!

今年度から、NGO 福岡ネットワーク (FUNN) に参加することになりました。1993 年設立、現在の加盟団体数 17 の FUNN は、もともと FNA の母体のひとつでこれまでいろいろ協力したり、助けていただいたりしていましたが、「FUNN じゃなかったっけ?」といわれることもたびたび……。ここに正式参加となりました。

FUNNとは:

国際交流・環境・人権などの各分野で地球市民的観点から活動に取り組んでいる団体や個人によって構成されています。会員相互の情報交換や、各種学習会によって資質の向上を目指すとともに広く市民や行政にはたらきかけ民間レベルの国際協力や交流を迫伸することを目的とした福岡地区のNGOのネットワーク組織です。FUNNとはFukuoka NGO Networkの頭文字をとった通称です。

<所在地・連絡先> <http://funn.nngo.jp/>

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-6-1 小森ビル4-A

TEL/FAX 092 (405) 9870 (火)~(土) 13時~18時、時間外は留守電になります。

交通アクセス: 福岡市営地下鉄 [博多駅]より徒歩7分、JR [博多駅]より徒歩7分

西鉄バス [駅前4丁目]より徒歩2分 / [TVQ前]より徒歩5分

正会員団体

アジア開発銀行福岡NGOフォーラム、特定非営利活動法人アジア女性センター、(特活)明日のカンボジアを考える会、アルス in 福岡、エスペランサ、カンボジア地雷撤去キャンペーン、くるんて〜ぶの会、子どもの性と命の教育コミッティ CESA、債務と貧困を考えるジュビリー九州、

JVC九州ネットワーク、ジャンプン (JAMPN)、ソルト・パヤタス・ファウンデーション、NPO 法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク、ネパール歯科医療協力会 (ADCN)、バングラデシュと手をつなぐ会、PP21ふくおか自由学校、フレンズ国際ワークキャンプ九州 (FIWC九州)

ADB京都総会 *こぼれた話題*

- ・ ADB 総会のデモの様子を「You Tube」(動画共有サイト)でみる
ことができます! <http://www.youtube.com/watch?v=mx6pk7lz14I>
- ・ 会議場の通路で黒田総裁とすれ違った。秘書らしき人と一緒だったけど、ふつうに歩いていった(当たり前か)。
 - ・ 総会参加者には財務大臣主催パーティーの招待状が渡される(恒例)。今年は、「行った」という話を聞かなかったが……。ところで、財務大臣って誰だっけ?

ご紹介

FNA小冊子

ADBってなに?～わたしたちの「援助」が感謝されない理由～

発行：FNA A5サイズ、66ページ、2007年4月発行 ¥300

日本では第30回福岡総会以来となる2007年京都総会。この機会にわたしたちの活動を振り返ると共に、京都総会に向けてのメッセージを発信するためにこの小冊子を企画しました。一般の市民にとってわかりにくいADBですが、わたしたちとのかかわりを中心にできるかぎり平易に書きました。この小冊子がADBとADB京都総会に関心を持つ方々のお役にたてれば幸いです。

内容：「NGO、国際会議へ行く-NGOs go to Fukuoka」
「アジア開発銀行と日本」
「ADB融資プロジェクトーそのプロセスと問題」
・サムットプラカン・プロジェクト
・神々の立ち退きーカンボジア国道1号線改修事業の話」
「おわりにーわたしたちにできること」
「資料（略号・関係機関）」



Q：FNAってどんなNGO？

A：FNA（エフナ、アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム）は、アジア開発銀行（ADB）によって行われる開発をモニタリングし、政策提言を行うNGOです。

お申し込み・お問い合わせ・ご連絡は下記までお願いします。

〒810-0041 福岡市中央区大名2-6-46 福岡市立青年センター5階
福岡市NPO・ボランティア交流センター（愛称あすみん）気付連絡ボックスNo.24
FNA行

（郵便物には必ず「連絡ボックスNo.24」を明記してください）

電話・ファクス：092-920-1873

（電話は留守番電話になっています。ご用件を録音してください）

Eメール fna@minos.ocn.ne.jp

URL <http://fna.nngo.jp/>

(<http://www.geocities.jp/fnafukuoka/>)

*会員募集中！年会費（1口）・正会員5000円・学生会員3000円・購読会員2000円
入会を希望される方はお名前・住所・連絡先（電話・ファクス・Eメールアドレスなど）
を事務局にご連絡ください。FNAの郵便振替用紙をご利用いただくと手数料は無料です。

オープン・アカウント第22号（発行2007年8月30日）